

第9期 ● 報告書

2007年4月1日から2008年3月31日まで

証券コード:3745



ネットワークを通じて、
世の中に「わっ!!」を提供する

サミーネットワークスは来るべきユビキタス社会においてネットワークでつながるあらゆるデバイスを通じ様々なコンテンツにより多くの皆様に感動や楽しさを提供しつづけます。



アミューズメントモバイル事業

モバイル領域において、パチスロ・パチンコゲームや各種コンテンツの配信サービスを展開しております。



アミューズメントオンライン事業

PC領域において、オンラインのパチスロ・パチンコゲームを中心としたサービスを展開しております。



ポイントメディア事業

インターネット上でユーザーが各種サービスを利用することでポイントを獲得し増やすことのできるポイントサービスを運営しております。



サウンドビジュアル事業

主にモバイル領域において、着メロ等の音楽系に加え、映像等のビジュアル分野でもサービス展開しております。



muPass (ミューパス) 事業

携帯電話の赤外線を使い、音楽・画像・情報系コンテンツを配信するサービスを展開しております。



ソリューション事業

各種コンテンツやWeb関連システム等の企画から開発・運営まで一貫したサービスを提供しております。

ネットワークを通じて、
世の中に“わっ!!”を提供する



永続的な成長に向けてコア事業の一層の強化と 新規事業の創出に努めてまいります。



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当社は2000年の創業以来「ネットワークを通じて、世の中に“わっ!!”を提供する」をコーポレートスローガンとし、“喜び”“楽しみ”“感動”を感じていただける様々なサービスを提供してまいりました。

当期(2007年4月1日から2008年3月31日まで)におきましては、アミューズメントオンライン事業において「777タウン-dot-net」の会員数が順調に拡大し国内トップクラスのオンラインゲームになるまでに成長したことや、前期に実施したM&Aによる事業領域の拡大等により連結売上高111億48百万円(前期比4.9%増)、連結営業利益16億93百万円(前期比32.9%減)、連結経常利益16億23百万円(前期比35.8%減)となりました。一方で、中国事業からの撤退等により特別損失を計上し、連結当期純利益は3億58百万円(前期比74.3%減)となりました。

今後につきましては、コア事業であるアミューズメント事業の収益性を一層強化していくとともに、めまぐるしく変化する事業環境の中でユーザーニーズを的確に捉えた新たなサービスを創出し、さらなる企業価値の向上を目指して邁進してまいります。

なお、期末配当金につきましては、1株につき3,000円を実施いたしております。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2008年6月

代表取締役社長

大野政昭

コア事業であるアミューズメント事業の収益基盤を更に強化し、新たな領域でエンタテインメントを創出していきます。

Q1 当期(2008年3月期)の主な取り組みと成果についてお聞かせください。

大野 当社はパチスロ・パチンコゲームの配信サービスを中心に事業展開をしておりますが、先般実施されたパチスロ機に対する規制の改正・強化の影響から当社サービスの主要顧客であるパチスロ愛好者の人口は減少傾向が続いており、事業環境は厳しくなっております。そうした中で、当社はPC向けにパチスロ・パチンコオンラインゲーム「777タウンドットネット」を展開するアミューズメントオンライン事業を最重点事業と位置づけ、ユーザー満足度の向上による有料会員数の増加および会員単価の向上に取り組んでまいりました。具体的には、パチンコメーカー8社、パチスロメーカー11社からライセンス供与を受け、量ともに充実したオンラインゲームサービスを提供するとともに、ユーザーコミュニティ機能の強化やパチスロ・パチンコ以外のゲームを投入する等の施策を実施し、大きな成長を遂げることができました。

「777タウンドットネット」の当期末時点での有料会員数は約14万人(前期末比約4万人増)、会員売上単価は約2,200円(前期末比約150円増)と拡大しており、無料会員数も約84万人にまで増加しております。これにより、当期におけるアミューズメントオンライン事業の売上高は約30億円(前期比約16億円増)となりました。

一方、携帯電話向けパチスロ・パチンコゲームサイト「サミー777タウン」を中心とするアミューズメントモバイル事業につきましては、パチスロの実機販売に先駆けたアプリ配信等の施策を積極的に実施し、ユーザー満足度の向上に努めましたが、パチスロ人口の減少やモバイルコンテンツ市場の成熟化に伴い会員数が減少し、売上高は約47億円(前期比約10億円減)となりました。

これらを中心とする取り組みの結果、単体の業績につきましては、売上高は約84億円(前期比約2億円増)、営業利益は約23億円(前期比約3億円減)となり、営業利益率は約28%と高水準を達成することができました。

また、連結の業績につきましては、子会社が展開するソリューション事業およびポイントメディア事業が貢献し、売上高は約111億円

(前期比約5億円増)、営業利益は約16億円(前期比約8億円減)となりましたが、海外事業において中国事業からの撤退や米国事業で特別損失を計上したことにより、当期純利益は約3億円(前期比約10億円減)となりました。

Q2 事業の拡大に向けた注力分野と具体的な戦略についてお聞かせください。

大野 引き続きアミューズメントオンライン事業を最重点事業として推進してまいります。「777タウンドットネット」ではパチスロ・パチンコゲームに加え、これまで麻雀ゲームやカジノゲームを投入してきておりますが、今後もユーザーニーズにマッチした新たなサービスを順次投入していくことで有料会員数18万人を目標として成長させてまいります。また、将来的には「777タウンドットネット」をアミューズメントポータルサイトへと進化させていく計画でございます。既に一部の公営ギャンブルとの取り組みにつきましては具体的に検討を進めており、サービス企画の立案や提携等に向けた交渉を始めております。

また、業績拡大のためのもうひとつの重点事業として、子会社である株式会社リアラスが展開するポイントメディア事業を掲げております。同事業は、広告収益モデルの無料会員サイト「予想ネット」を運営し、ユーザーがスポーツの勝敗や株価、CD売上ランキングといった、世の中の様々な出来事を予想し、その的中に応じてポイントを増やすことができる点に特徴がございます。獲得したポイントは、電子マネーや各種提携ポイントに交換することができるためユーザーにとっては非常に魅力的なサービスとなっております。

既に当期末までに約192万人の会員を獲得しており手応えを感じておりますが、来期(2009年3月期)は、「予想ネット」を既存のパソコン分野だけでなく、当社の得意とするモバイル分野で展開することで一気に会員数の拡大を目指していきます。

将来的には、モバイル向け広告収益型サービスにおける業界NO.1を目指し、アミューズメントオンライン事業、アミューズメントモバイル事業に次ぐ第3の事業の柱へと成長させていきます。

Q3 新規参入したエデュテイメント分野の状況はいかがでしょうか？

大野 エデュテイメントとは、「エデュケーション(教育)」と「エンタテインメント(娯楽)」を組み合わせた造語であり、当社が今後成長していくための新たな事業分野の一つと位置づけております。当期におきましては、2008年2月から中学生向けにゲームで遊びながら英語や歴史を学べる「ウチらのベンキョー委員会」を携帯電話向けにサービスを開始しております。同分野における第2弾・第3弾のサービスにつきましても来期中(2009年3月期)に順次投入していく予定でございます。

また、当社では将来の成長につながるヒット事業や、よりインパクトのあるサービス企画を生み出すことを目的とし「新規企画本部」を設置し、新たな領域においてトライ&エラーを繰り返す中で事業としての成長の兆しを見出し、育て上げていく仕組み作りを行っております。

エデュテイメント分野以外にも事業化に向けた取り組みを進めており、それぞれが具体化し次第サービス展開を図っていく予定でございます。

Q4 サミーネットワークスにとってのこれからの成長課題についてお聞かせください。

大野 重点事業として掲げているアミューズメントオンライン事業やポイントメディア事業においては、有料会員の獲得が最も重要なテーマであり、ユーザーのニーズを徹底的に分析した上で、その結果を反映した付加価値の高いサービスをいかにして作り出していくかが課題であると考えております。

エンタテインメントビジネスというものは、人々の生活において必ずしも必要なものではなく、「あったら楽しい」というプラスα的な要素が強いビジネスであるだけに、確実なヒットを生み出すための論理的な方法というものはございません。意外性や、既存のサービスにはない新しさの中からヒットの可能性を探り、突き抜けていく可能性のあるものに対し経営リソースを投下していくスタンスが重要であると考えております。当社としてはアミューズメント事業を中心とする主力事業が高い利益率を維持している間に、次の成長のための種を蒔き育てていく必要があると考えております。

また、その実現のためには、これからの当社にとって最も重要な



要素は人材であると考えております。人々に楽しさや感動を提供するために創造・工夫をしていくことができる人材が必要であり、引き続き「人材の育成」に注力していきます。

Q5 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

大野 さらなる成長のための新分野として手掛けてきた海外事業やmuPass事業において、株主の皆様が期待するような成果が出せずにいる点につきましては、大変申し訳なく感じております。今後につきましては、当社の強みであるアミューズメント事業の収益力をさらに強化していく一方で、人々のライフスタイルを変えてしまうような大きなインパクトのあるサービスを創造していくことで、企業価値を高め、株主の皆様のご支援とご期待にお応えしていく所存です。

エンタテインメントビジネスは、ヒットの有無によって業績が変動しやすい業種ですが、当社は高い収益性の確保により安定的に利益還元を行っていく方針です。当期につきましては、前期から減益の決算となり、株主の皆様にご心配とご迷惑をお掛けしましたが、当方針に基づき、前期同様に1株につき3,000円の期末配当とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、長期的な視点で当社の成長力に期待していただき、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

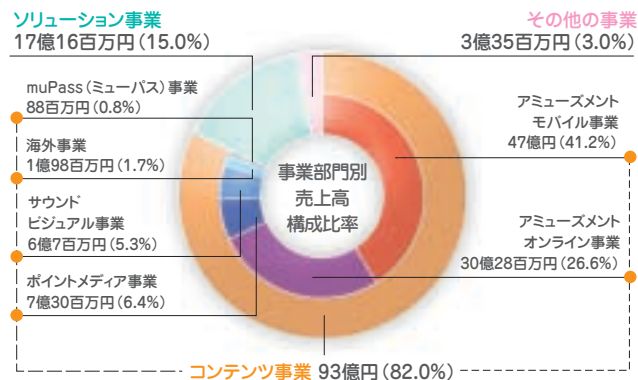
■ 全般の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、原油価格の高騰や米国のサブプライムローン問題を発端とする世界経済の先行き不安等の懸念材料がありましたが、大企業を中心とした堅調な企業収益を背景に、一部で弱さが見られるものの景気は回復基調で推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境といたしましては、PC・携帯電話ともにインターネットの普及率は高まっており、特に携帯電話に関しましては、高速データ通信が可能な端末の標準化により、動画等の大容量コンテンツ配信の環境が整いつつあります。

このような状況の中、当社グループの主力事業であるコンテンツ事業におきましては、携帯電話およびPC向けのパチスロ・パチンコゲーム等の既存サービスの拡大・維持を精力的に推し進めるとともに、携帯電話以外のプラットフォームへのコンテンツ配信のためのシステム開発や、新規サービスの立ち上げにおいても積極的な展開を行ってまいりました。

一方で、中国における携帯電話向けコンテンツ事業に関しましては、中国当局の各種規制の強化に伴う市場環境の急激な変化により、今後の業績の回復が困難であるとの判断から



※ 円グラフの数値は連結消去前です。

撤退を決定し、当社の連結子会社であるSammy Networks Asia Pacific Limitedは、同社の保有する中国のサービスプロバイダーである広州市華創信息技术有限公司の持株会社であるJVMMS Holdings Ltd.の株式を6月に減損し12月に売却いたしました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高111億48百万円(前期比4.9%増)、営業利益16億93百万円(前期比32.9%減)、経常利益16億23百万円(前期比35.8%減)、当期純利益3億58百万円(前期比74.3%減)となりました。

■ セグメント別の概況

コンテンツ事業

● アミューズメントオンライン事業

PC向けパチスロ・パチンコオンラインゲーム「777タウン ドットネット」において、引き続き実機販売に先駆けたゲームの先行配信等を行いコンテンツの充実を図るとともに、オンラインならではのコミュニティ



機能等の強化に努めてまいりました。また、中長期的な展望である「アミューズメントポータルサイト」化への展開の第一歩として、2007年9月にオンライン麻雀ゲーム「777タウン麻雀」、2008年3月にオンラインカジノゲーム「逆境無頼カイジ 帝愛カジノ」を投入いたしました。

この結果、アミューズメントオンライン事業の売上高は30億28百万円(前期比116.2%増)となりました。

● アミューズメントモバイル事業

主力コンテンツである携帯電話向けパチスロ・パチンコゲームサイト「サミー777タウン」にて、アプリゲームの実機販売

に先駆けた先行配信やアプリゲーム以外のコーナーの充実に努めてまいりました。

この結果、アミューズメントモバイル事業の売上高は47億円（前期比18.8%減）となりました。



●muPass事業

携帯サイトから携帯電話にダウンロードした各種コンテンツを紙に印刷して楽しむことができる「モバプリ」サービスを2007年7月にスタートし、同年11月には、携帯電話上で作成した年賀はがきをそのまま郵送できる「EZケータイPOST」サービスをスタートいたしました。



この結果、muPass事業の売上高は88百万円（前期比101.4%増）となりました。



●サウンドビジュアル事業

高音質着信メロディサイト「プラチナメロディ」などの既存サイトの充実に努めてまいりましたが、着信メロディ市場が飽和状態のため会員数が減少傾向で推移しました。

この結果、サウンドビジュアル事業の売上高は、6億7百万円（前期比37.5%減）となりました。



●海外事業

中国事業の撤退により海外事業の売上高は、1億98百万円（前期比78.3%減）となりました。

●ポイントメディア事業

インターネット上でショッピングや資料請求などにより各種ポイントを貯めたり、予想問題でポイントを増やすことのできるサービス「予想ネット」を中心に、会員数の増加に努めてまいりました。



この結果、ポイントメディア事業の売上高は、7億30百万円（前期比228.7%増）となりました。

※前期は期中に子会社を買収したため4カ月分の算入。

コンテンツ事業の売上高といたしましては、93億円（前期比0.4%減）となりました。

ソリューション事業

コンテンツのサービスや企画力のみならず、技術企画・開発・運営まで一貫した総合的な体制を構築し、ワンストップによる支援サービスに努めてまいりました。また、ゴルフ場のカートに無線LANでコースの情報やプレーヤーのスコアを入力できるサービスの提供を開始いたしました。

この結果、ソリューション事業の売上高は17億16百万円（前期比90.2%増）となりました。

※前期は期中に子会社を買収したため5カ月分の算入。

その他事業

その他の事業におきましては、株式会社メディア・トラストの子会社である株式会社キュールにおいて、ゲームソフト販売を中心とした流通事業を展開しておりましたが、当連結会計年度中において同事業から撤退しております。

この結果、その他事業の売上高は3億35百万円（前期比23.1%減）となりました。

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2008年3月31日現在	2007年3月31日現在
●資産の部		
流動資産	6,208,680	6,502,055
現金及び預金	3,188,004	3,476,126
売掛金	2,035,172	2,427,011
商品	5,081	79,354
繰延税金資産	649	101,738
その他	979,772	417,824
固定資産	3,256,283	5,947,452
有形固定資産	144,849	193,710
無形固定資産	2,008,268	4,249,782
投資その他の資産	1,103,165	1,503,959
資産合計	9,464,964	12,449,507
●負債の部		
流動負債	1,364,717	2,315,987
買掛金	841,592	890,902
未払金	207,511	189,489
未払法人税等	2,392	863,663
賞与引当金	83,480	77,000
役員賞与引当金	—	50,000
その他	229,742	244,931
固定負債	86,100	75,047
負債合計	1,450,818	2,391,035
●純資産の部		
株主資本	8,031,457	8,962,139
資本金	2,330,275	2,306,050
資本剰余金	2,974,810	2,950,585
利益剰余金	3,479,474	4,210,048
自己株式	△753,103	△504,545
評価・換算差額等	△20,739	269,547
少数株主持分	3,428	826,785
純資産合計	8,014,146	10,058,472
負債純資産合計	9,464,964	12,449,507

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2007年4月 1日から 2008年3月31日まで	2006年4月 1日から 2007年3月31日まで
売上高	11,148,763	10,626,496
売上原価	5,889,042	4,877,379
売上総利益	5,259,720	5,749,116
販売費及び一般管理費	3,566,372	3,226,910
営業利益	1,693,347	2,522,205
営業外収益	6,981	12,163
営業外費用	76,609	6,134
経常利益	1,623,720	2,528,235
特別利益	241,506	1,000
特別損失	1,436,970	977
税金等調整前当期純利益	428,256	2,528,257
法人税、住民税及び事業税	98,067	1,282,761
法人税等調整額	72,876	△140,772
少数株主損失	101,438	11,407
当期純利益	358,751	1,397,674

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2007年4月 1日から 2008年3月31日まで	2006年4月 1日から 2007年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,500,905	2,495,736
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,476,134	△2,520,549
財務活動によるキャッシュ・フロー	△304,466	△1,046,560
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,427	29,587
現金及び現金同等物の減少額	△288,122	△1,041,786
現金及び現金同等物の期首残高	3,476,126	4,517,770
非連結子会社の連結化に伴う増加額	—	142
現金及び現金同等物の期末残高	3,188,004	3,476,126

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度2007年4月1日から2008年3月31日まで

(単位：千円)

	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他の有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2007年3月31日残高	2,306,050	2,950,585	4,210,048	△504,545	8,962,139	16,193	253,353	269,547	826,785	10,058,472
連結会計年度中の変動額										
新株の発行	24,225	24,225	—	—	48,450	—	—	—	—	48,450
剰余金の配当	—	—	△131,508	—	△131,508	—	—	—	—	△131,508
当期純利益	—	—	358,751	—	358,751	—	—	—	—	358,751
在外子会社の 会計処理変更に伴う減少額	—	—	△957,817	—	△957,817	—	—	—	—	△957,817
自己株式の取得	—	—	—	△248,558	△248,558	—	—	—	—	△248,558
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△36,933	△253,353	△290,287	△823,357	△1,113,644
連結会計年度中の変動額合計	24,225	24,225	△730,574	△248,558	△930,681	△36,933	△253,353	△290,287	△823,357	△2,044,326
2008年3月31日残高	2,330,275	2,974,810	3,479,474	△753,103	8,031,457	△20,739	—	△20,739	3,428	8,014,146

貸借対照表

(単位:千円)

科目	当事業年度	前事業年度
	2008年3月31日現在	2007年3月31日現在
●資産の部		
流動資産	5,909,838	5,198,071
現金及び預金	3,012,645	2,511,493
売掛金	1,601,712	1,814,912
商品	3,824	3,404
前払費用	37,465	49,410
繰延税金資産	649	101,738
短期貸付金	631,900	663,000
未取還付法人税等	546,369	—
その他	75,272	54,112
固定資産	3,796,240	5,873,021
有形固定資産	97,191	77,065
無形固定資産	478,313	222,212
投資その他の資産	3,220,735	5,573,744
資産合計	9,706,078	11,071,093
●負債の部		
流動負債	1,022,978	1,923,765
買掛金	705,906	670,668
未払金	169,849	132,163
未払費用	10,003	10,573
未払法人税等	—	871,704
未払消費税等	30,179	81,465
前受金	10,045	10,245
預り金	13,513	19,944
賞与引当金	83,480	77,000
役員賞与引当金	—	50,000
固定負債	66,787	64,469
負債合計	1,089,765	1,988,234
●純資産の部		
株主資本	8,637,053	9,066,665
資本金	2,330,275	2,306,050
資本剰余金	2,974,810	2,950,585
利益剰余金	4,085,070	4,314,574
自己株式	△753,103	△504,545
評価・換算差額等	△20,739	16,193
その他有価証券評価差額金	△20,739	16,193
純資産合計	8,616,313	9,082,858
負債純資産合計	9,706,078	11,071,093

損益計算書

(単位:千円)

科目	当事業年度	前事業年度
	2007年4月1日から 2008年3月31日まで	2006年4月1日から 2007年3月31日まで
売上高	8,438,459	8,213,343
売上原価	3,692,639	3,326,154
売上総利益	4,745,820	4,887,188
販売費及び一般管理費	2,375,916	2,167,298
営業利益	2,369,903	2,719,890
営業外収益	11,511	9,114
営業外費用	20,290	3,452
経常利益	2,361,124	2,725,551
特別利益	25,653	1,000
特別損失	2,293,264	59,058
税引前当期純利益	93,513	2,667,493
法人税、住民税及び事業税	95,000	1,293,000
法人税等調整額	96,509	△164,405
当期純利益又は当期純損失(△)	△97,995	1,538,898

株主資本等変動計算書 当事業年度2007年4月1日から2008年3月31日まで

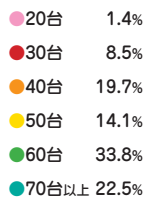
(単位:千円)

	株主資本						評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			自己株式			株主資本 合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
2007年3月31日残高	2,306,050	2,950,585	2,885	4,311,688	4,314,574	△504,545	9,066,665	16,193	9,082,858
事業年度中の変動額									
新株の発行	24,225	24,225	—	—	—	—	48,450	—	48,450
剰余金の配当	—	—	—	△131,508	△131,508	—	△131,508	—	△131,508
当期純損失	—	—	—	△97,995	△97,995	—	△97,995	—	△97,995
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△248,558	△248,558	—	△248,558
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	△36,933	△36,933
事業年度中の変動額合計	24,225	24,225	—	△229,503	△229,503	△248,558	△429,611	△36,933	△466,545
2008年3月31日残高	2,330,275	2,974,810	2,885	4,082,184	4,085,070	△753,103	8,637,053	△20,739	8,616,313

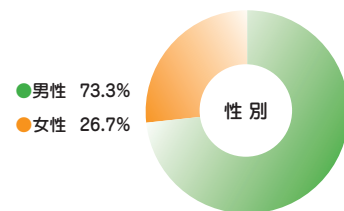
アンケートのご報告

前回の中間報告書にて実施いたしました「株主アンケート」の集計結果が整いましたので、主なデータにつきご報告いたします。アンケートに際しましては、多くの皆様のご協力を賜りましたことを、感謝申し上げます。

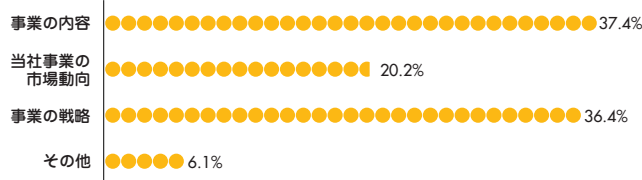
● アンケート回答者様の世代別内訳



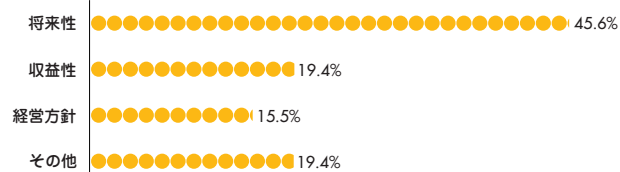
● アンケート回答者様の性別内訳



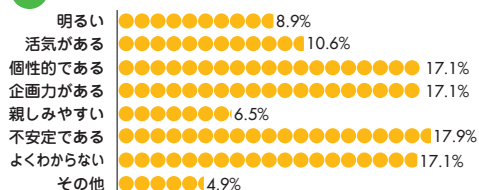
Q 当社について関心のある情報は何ですか？（複数回答）



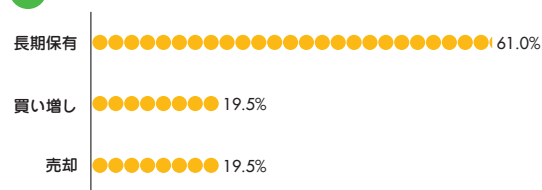
Q 当社に期待することは何ですか？（複数回答）



Q 当社にどのようなイメージをお持ちですか？（複数回答）



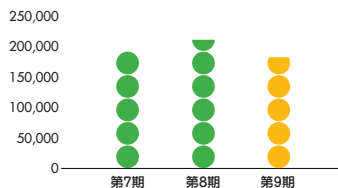
Q 今後、当社の株式についてどのような方針をお持ちですか？（複数回答）



一株当たり情報

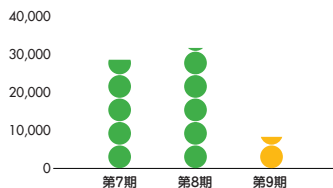
● 一株当たり純資産

(単位:円)



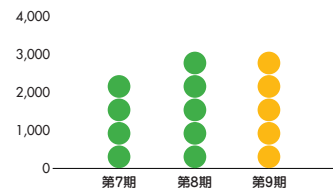
● 一株当たり当期純利益

(単位:円)



● 一株当たり配当額

(単位:円)



■ ■ 株式情報

● 株式の状況

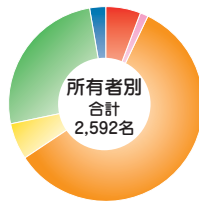
発行可能株式総数	120,000株
発行済株式総数	45,306株
株主数	2,592名

● 大株主

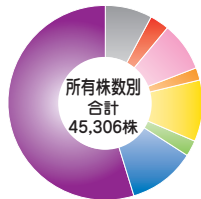
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
セガサミーホールディングス株式会社	24,804	54.74
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,448	3.19
大野 政昭	1,372	3.02
株式会社サミーネットワークス	1,222	2.69
メロンバンクローティークライアントコムニバス	1,015	2.24
バンクオブニューヨーク・ジェシー・エムクライアント アカウント・ジェイ・イー・アール・アイ・エス・ジー・エフ・イー・エイ・シー	629	1.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	573	1.26
ビーエヌイー・パリバセキュリティーズサービス ミランジャス・デック・ノート・ローティーク	497	1.09
倉垣 英男	432	0.95
株式会社ドコモ・ドットコム	420	0.92

● 株式分布状況

● 金融機関	5.8%
● 金融商品取引業者	1.3%
● その他の法人	58.6%
● 自己名義株式	2.7%
● 個人・その他	25.6%
● 外国人等	6.1%



● 1株以上	7.8%
● 5株以上	3.2%
● 10株以上	8.1%
● 50株以上	2.1%
● 100株以上	10.2%
● 500株以上	2.7%
● 1,000株以上	11.2%
● 10,000株以上	54.8%



■ ■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金 3月31日
受領株主確定日

中間配当を行う場合は9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081

東京都江東区東砂7丁目10番11号

TEL 0120-232-711 (通話料無料)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

上場取引所 東京証券取引所

公告掲載URL <http://www.sammy-net.jp/announcement.html>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

お知らせ

株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙(届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、名義書換請求書等)のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

☎ 0120-244-479

(三菱UFJ信託銀行本店証券代行部)

☎ 0120-684-479

(三菱UFJ信託銀行大阪支店証券代行部)

インターネットアドレス

<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、証券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

会社概要

(2008年3月31日現在)

- 会社名 株式会社サミーネットワークス
Sammy NetWorks Co., Ltd.
- 本社所在地 〒107-0062
東京都港区南青山3丁目1番31号
大手町建物青山ビル3階
- 設立 2000年3月1日
- 資本金 23億30百万円
- 事業内容 携帯電話、PCへの音楽関連コンテンツ、ゲーム関連コンテンツの配信サービス、インターネット広告事業、Eコマースおよびシステム開発事業
- 監査法人 あずさ監査法人
- 従業員数 連結164名、単体93名

役員

(2008年6月13日現在)

取締役会長	里見 治	執行役員	倉垣 英男
代表取締役社長	大野 政昭	執行役員	佐藤 慎吾
専務取締役	崎野 清文	執行役員	小口 剛
専務取締役	石倉 博	執行役員	三井 友樹
取締役	大山 太郎	執行役員	秋吉 正樹
取締役	西田 浩	執行役員	井東 真一
常勤監査役	嘉指 富雄		
監査役	榎本 峰夫		
監査役	家田 和忠		

主な連結子会社

(2008年6月13日現在)

株式会社リアラス
株式会社メディア・トラスト
セガサミーメディア株式会社

ホームページのご案内



サミーネットワークスに関する詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。または、IRメールにて最新情報を配信しております。ぜひ、この機会にご登録ください。

- ホームページアドレス
<http://www.sammy-net.jp>
- IRメール配信
<http://www.sammy-net.jp/ir/mail/>

©武論尊・原哲夫/NSP 1983,
©NSP 2007 版權許諾証GS-406.©Sammy

©武論尊・原哲夫/NSP 1983,
©NSP 2007 版權許諾証GT-706.©Sammy

今後の見通しに関する注意事項

本誌の記載内容のうち、当社の将来に関する見直しおよび計画などの歴史的事実でないものについては将来予測であり、現在入手可能な情報から得られた会社の判断に基づいています。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素が含まれており、実際の成果や業績などは、記載の見直しとは大きく異なる可能性があります。

※ 本冊子は環境に配慮し、再生紙と大豆油インクを使用しています。